

**次期愛知県観光振興基本計画(仮称)検討委員会
第2回観光マーケティング部会 議事録(概要版)**

■日 時

2023年9月21日(木)午後1時～午後3時

■場 所

愛知県議会議事堂1階ラウンジ
オンラインZoom *ハイブリッド形式により開催

■出席者

●委 員(敬称略)

○…部会長

所属・職	氏名	形式
国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学大学院情報学研究科 准教授	<small>うらた まゆ</small> 浦田 真由	対面
株式会社行楽ジャパン 代表取締役社長	<small>えん せい</small> 袁 静	オンライン
有限会社パスト・プレゼント・フューチャー 代表取締役	クリス・グレン	対面
日本薬科大学 特別招聘教授/内閣府クールジャパンプロデューサー	<small>じんない ひろき</small> 陳内 裕樹	対面
東海学園大学ともいき教養教育機構・経営学部 客員教授	<small>よこやま ようじ</small> ○横山 陽二	オンライン

●オブザーバー(敬称略)

所属・職	氏名	形式
公益社団法人日本観光振興協会 中部支部 事務局長	<small>にしむら てつじ</small> 西村 哲治	対面
一般社団法人愛知県観光協会 専務理事	<small>さかきばら ひとし</small> 榊原 仁	対面

●事務局(愛知県観光コンベンション局)

観光コンベンション局各課長、室長、各担当課長、各課長補佐同席

※顧問、局長、観光推進監 はオンラインで参加。

■主な内容

【愛知県の観光を取り巻く状況】

- 公式観光情報サイトは発信力の向上だけでなく質の向上にも取り組む必要がある。
- 戦略策定の目的に「愛知県らしさ」を出せるのではないか。

【目指すべき姿】

- 目指すべき姿と施策の分野のつながりが分かりにくい。
- 「アナタ」と入れたことで、メッセージ性が強くなり、良いコピーだと感じる。

【施策立案・実施にあたっての基本方針及び施策の展開分野】

- ファンマーケットを重視するのであれば、「ファン」の声を取り入れる仕組みについて記載したほうが良い。
- インバウンドのカラーが弱い。
- ターゲット国・地域に即した戦略手法の検討について記載したほうが良い。
- 中国は本土がコロナ禍前ほどの好景気ではなくなっている。かつての様に、中国からの訪問者数は伸びない。富裕層をターゲットにした観光振興にフォーカスした姿勢を示す必要がある。
- DXに関する施策の書きぶりが弱いと感じる。
- 交通インフラ整備のうち、リニアについては、行政が主となって取り組んでいることも記載したほうがよい。
- 観光関連産業の人員不足に対する取組の記載は拡充したほうがよい。中でも中核を担う、マネージャー層の人材育成・確保についても触れる必要がある。
- 「観光財源のあり方を検討する」ことを明記し、県民の税金を使わない観光地経営を目指すことを記載する必要がある。
- DMOの財源確保についても検討していくことも記載してほしい。
- 同一の戦略内で示すのであれば、MICEも一般観光と同じ方針に沿って整理する必要がある。

【数値目標】

- 観光客が増えることが望ましいと思っている県民の割合を入れたほうがよい。

【進捗管理指標】

- 観光客が使っている情報（Google等）を活用したモニタリングも検討できるとよい。

【推進体制と各主体の役割】

- ステークホルダーが集まるプラットフォームの構築方法を検討できるとよい。
- 目的、分野に応じて、プロジェクトごとに関係者が集まるのがよい。

【その他（全体に係ること）】

- DMOや地域のデジタル化は県が主導していく必要がある。
- インバウンド客の延泊に取り組んでいくことが求められる。
- ライドシェアを観光を切り口に検討を進めると良い。